

| | | | | | |
|---|--------|------|-------------------------------|-----|------------------|
| 科目名称:英語Ⅱ | | | | | |
| 担当者名:竹腰 敦, 山口 善成 | | | | | |
| 科目群(区分) | 開講予定時期 | 授業形態 | 必修・選択 | 単位数 | 卒業認定・学位授与の方針との関連 |
| 基礎 | 1年後期 | 演習 | 必修 | 1 | 社会福祉学科(1) |
| アクティブ・ラーニング実施の有無 | 実施有り | | ナンバリング | | 11101022 |
| 授業概要:英語の4技能(スピーキング, リスニング, ライティング, リーディング)の総合的な向上を目指す。大量の平易な英文を聞き, 読み, 話し, 書く練習を繰り返すことによって, 英語の音声, 語彙, 文構造, 発想方法を身につける。授業内容の詳細は担当者により異なるので, 第1回授業で説明する。20名程度のクラスで学生同士の対話・共同作業を重視する演習を行う。2段階の習熟度別クラス編成を行う。 | | | | | |
| 到達目標:(1) 身近な話題に関する100語程度の文章や会話を素早く正確に理解できるようになる。 (2) 身近な話題について50語以上用いて素早く正確に表現できるようになる。 | | | | | |
| 授業計画 | | | 準備学習とその所要時間(分) | | |
| 第1回 ※下の計画は一例。各担当教員の計画は第1回授業で説明する。 授業の概要・進め方等の説明 | | | 授業の復習と予習(具体的内容は授業中に指示する。)(60) | | |
| 第2回 品詞と文型/音節 | | | 授業の復習と予習(具体的内容は授業中に指示する。)(60) | | |
| 第3回 句と節/強弱リズム(語強勢) | | | 授業の復習と予習(具体的内容は授業中に指示する。)(60) | | |
| 第4回 動詞の語法/日本語のカタカナ語の英語発音 | | | 授業の復習と予習(具体的内容は授業中に指示する。)(60) | | |
| 第5回 文の種類(平叙文・疑問文・命令文・感嘆文)/強弱リズム(文強勢) | | | 授業の復習と予習(具体的内容は授業中に指示する。)(60) | | |
| 第6回 名詞/機能語の強形と弱形 | | | 授業の復習と予習(具体的内容は授業中に指示する。)(60) | | |
| 第7回 代名詞/強勢移動 | | | 授業の復習と予習(具体的内容は授業中に指示する。)(60) | | |
| 第8回 冠詞/連結 | | | 授業の復習と予習(具体的内容は授業中に指示する。)(60) | | |
| 第9回 関係詞/脱落 | | | 授業の復習と予習(具体的内容は授業中に指示する。)(60) | | |
| 第10回 時制/縮約 | | | 授業の復習と予習(具体的内容は授業中に指示する。)(60) | | |
| 第11回 準動詞/同化 | | | 授業の復習と予習(具体的内容は授業中に指示する。)(60) | | |
| 第12回 仮定法/音調句 | | | 授業の復習と予習(具体的内容は授業中に指示する。)(60) | | |
| 第13回 否定/イントネーション | | | 授業の復習と予習(具体的内容は授業中に指示する。)(60) | | |
| 第14回 倒置・挿入・省略/アメリカ英語とイギリス英語 | | | 授業の復習と予習(具体的内容は授業中に指示する。)(60) | | |
| 第15回 まとめ | | | 授業の復習と予習(具体的内容は授業中に指示する。)(60) | | |
| 履修に必要な予備知識や技能:中学校・高校で学習する英単語・英文法の基礎知識 | | | | | |
| 課題に対してのフィードバック:課題を出した次の授業で解説する。 | | | | | |
| 評価方法・基準:定期試験 80~90%、受講態度 10~20% | | | | | |
| 教科書:担当者により異なるので、学期初めのガイダンスで指示する。 | | | | | |
| 備考: | | | | | |
| 実務経験の内容・期間:なし | | | | | |